

## 実際に受け入れ農家にお話を伺いました！

Q1 援農ボランティアを受け入れたきっかけは？

Q2 援農ボランティアを受け入れるにあたって工夫していること。気を付けていること。

Q3 援農ボランティアの印象。

Q4 最後に一言！



四ツ溝柿部会  
あわの かずあき  
栗野 和明会長 (66)

【就農時期】  
平成24年  
【四ツ溝柿栽培面積】  
40アール

従来、10月下旬から行う収穫作業のみボランティアを派遣していましたが、農家側の要望に応え、今年度より摘果作業もボランティアが手伝っています。



A1 人手不足に限界を感じてJAに相談し、3年前に紹介を受けて以来、毎年援農ボランティアを受け入れています。

A2 「安全第一」に作業をしてもらうことです。万が一に備え、ボランティアが脚立に乗る作業は避け、高い場所の作業は自分が行っています。また、柿はデリケートで傷つきやすいため、1つひとつ丁寧に扱うことを願っています。

A3 真面目に農作業を行ってくれていて、とても助かっています。作業効率も上がり、同じ作業をする仲間がいることで仕事に張り合いも生まれています。

A4 収穫作業のみならず摘果作業も行うことで、援農ボランティアの方々の農業への興味がより深くなってもらえればと思います。地元の方でもまだ知らない方がいるので、ボランティアの方々に作業を通してより四ツ溝柿に愛着を持ってもらい、魅力を周りの人に発信してもらえると嬉しいです。



西浦柑橘出荷部会  
すずき まさゆき  
鈴木真之さん (40)

【就農時期】  
平成23年  
【西浦みかん栽培面積】  
2ヘクタール



A1 すでに援農ボランティアを取り入れている近所の農家の方から話を聞いて興味を持ったのがきっかけで、昨年度、初めて受け入れました。

A2 けがをしないように安全面に気を付けることはもちろんのこと、衛生面にも配慮しています。受け入れるにあたり、仮設トイレも畑に設置し、女性の方でも気兼ねなく畑で農作業ができるようにしています。

A3 援農ボランティアのおかげで一日に収穫できるミカンの収穫量が格段に増えました。また、ポイントを教えると、コツを掴んで手際よく働いてくれるので本当にありがたいです。

A4 休憩時間にボランティアの方々と他愛のない会話をしながら、コミュニケーションをとることができるのも、受け入れ側としてはとても楽しいです。せっかく応募をして参加していただいているので楽しく農業に触れてもらい、ボランティアの方々に「次も来たいな」と思ってもらえるような環境作りを心掛けています。今後も老若男女問わず、気軽に幅広い年代の方が援農ボランティアに参加し、西浦みかに親しんでほしいです。



## 援農ボランティア 参加者の声



どの農家の方も親切・丁寧に接してくれて「農家の役に立ちたい!」の一心で参加しています。  
地元の特産品に親しみながら、ボランティア同士でも仲を深めることが出来るのも楽しいです。

いづか しげる  
**飯塚 茂さん (68)**

【参加時期】平成26年度～  
【支援作物】四ツ溝柿、西浦みかん、  
沼津茶、キンカン「こん太」



四ツ溝柿の摘果作業を行う飯塚さん



初めての方でも事務局が手厚くサポートします!

もともとお茶に興味があり、募集チラシを見て応募しました。

手摘みでの茶摘み作業をすることで、沼津茶をより身近に感じ、とても良い体験が出来ました。お世話になった農家の方を思い出し、地元のおいしい沼津茶に親しみながら、地産地消を進めていきたいと思えます。



かばさわ けいこ  
**樺澤 敬子さん (35)**

【参加時期】平成29年度  
【支援作物】沼津茶

JAなんすんは  
今後も援農ボランティアや  
援農隊などにより  
労働力支援に取り組み、  
農家組合員の要望・希望に  
応えていきます!  
農作業の人手不足にお悩みなら  
一人で悩まず、  
JAなんすんにご相談ください!



援農ボランティアの様子・募集については  
広報誌をはじめ、ホームページ・フェイス  
ブック等で随時発信しています!

援農ボランティアに関する  
お問い合わせは

**農地保全課**  
**☎933-7008 まで!**

お気軽にお問い合わせください!